

今日のキーワード 経済の立て直しに取り組む「新政権」(豪州)

9月14日に実施されたオーストラリアの与党、自由党の党首選挙でマルコム・ターンブル氏がアボット前首相に勝利し、新首相に就任しました。ターンブル「新政権」は前政権の政策を概ね踏襲し、大きな修正は加えられないと見られています。投資銀行幹部やIT企業の創業といった経験を持つターンブル首相が率いる「新政権」によって、産業界や金融市場との信頼回復と経済の立て直しが当面の課題と言えるでしょう。

ポイント1

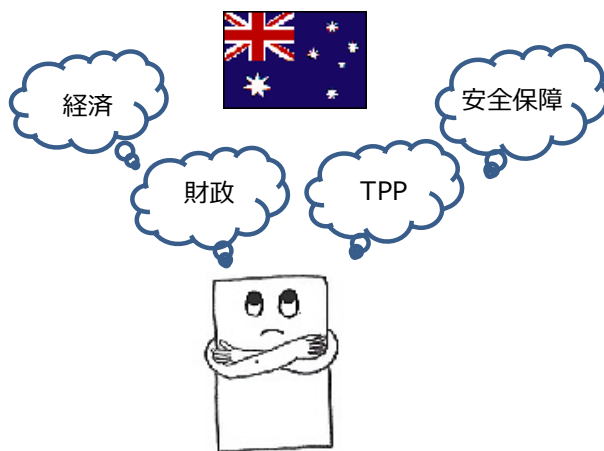
2016年の総選挙をにらんで党首交代 アボット前政権への不満が強まる

- 2013年9月に発足したアボット前政権は、財政再建に取り組むものの難航が続いたこと、法人税の税率引き下げ等の公約を守れなかったことなどから、支持率が低下していました。国内景気の減速、失業率の高止まりといった問題にも対応できず、このままでは2016年に実施される予定の総選挙に勝てないという不安が与党内で強まり、今回の首相交代につながりました。

ポイント2

前政権の政策を踏襲、大幅な変更はない見通し 日豪の経済・貿易関係への影響も小さいと考えられる

- ターンブル「新政権」は前政権の政策を概ね踏襲し、当面、大幅な政策変更は行わないと見られます。環太平洋経済連携協定（TPP）交渉を担当するロブ・フレイザー・ジョー・ハリスも留任しました。今後の交渉に大きな変化はないと考えられます。
- 日本との関係については、親日家だったアボット前首相に対し、ターンブル氏は日中のバランス外交に配慮する可能性が高いと見られています。ただ、日豪の経済や貿易関係は強固であり、政策全般では首相交代による影響は少ないと予想されます。



今後の展開

政権への信頼回復と経済の立て直しが当面の課題

■ 政権の信頼回復へ

ターンブル氏は国会議員になる以前に、投資銀行幹部やIT企業の共同経営者などの経験を有しています。産業界や金融界との対話を通じて、政権への信頼回復を図ることが当面の課題といえるでしょう。

■ 政策面では経済の立て直しに期待

豪州の4-6月期実質GDP成長率は前年同期比+2.0%となり、前期の+2.5%から減速しました。鈍化した経済を立て直すことが、まずは「新政権」に期待されるところです。

ここも チェック!

2015年 9月 9日 豪ドルの足元の状況と今後の見通し（9月）

2015年 9月 1日 豪中銀、4会合連続の政策金利据え置き

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。